

日本100マイルクラブの阪本さん(No.218)、関根さん(No.219)呼びかけで8月13日-16日の4日間、第2回'99パノラマトレイルランが行われました。コースは和歌山の岬公園(スタート)とし、紀泉高原、和泉葛城山、ダイヤモンドトレール、金剛山二上山(生駒縦走コース)を通して大阪交野の私市にゴールする約160kmの山岳コースです。

参加者は過去の関西周遊山岳マラニックの完走者、99年大会参加者等で、トランスエゾ、ネイチャーラン、さくら道、萩等(萩)等を完走している超ウルトラランナー達10名と私でしてこのうち、仕事の関係で4日間全コース参加したのは5名うち3名の方が全コースを踏破されました。

1日目は岬公園をスタートし、飯盛山、大福山を通して犬鳴温泉にゴールする約40kmです。登山道はブッシュが多く、水は少なく、1-2リットルの水を担いでの暑くて厳しいコースでした。1日目の7名のうち、2名は買い出し、私は疲れたため山中溪まででした。犬鳴温泉では買い出しによる食事を食べた。厳しい行程の中の豪華な宴会となりました。夜には3名が寝流しました。(走行時間:約11時間)

2日目は犬鳴温泉から和泉葛城山、南葛城山を通して紀見峠にゴールとするブナ原生林と溪谷美の約40kmのコースです。見晴らしも良く、ブッシュも少ない美しいコースです。3日目は国民宿舎紀伊見荘に宿泊し、温泉で疲れを癒しました(走行時間:約10時間)

4日目は、紀見峠から金剛山、二上山を通るダイヤモンドトレール通称ダイトレです。最高点は1125mの金剛山で、距離が一番長く、山あり、谷あり、丘ありの起伏に富んだコースです。本大会の最もハードなステージでした。宿は国民宿舎信太荘に泊り、温泉につかり、宴会をして大いに盛り上がりました。(走行時間:約14時間)

5日目は最終ステージで信貴山から生駒山を経て私市に至る生駒縦走歩道コースで生駒山系を南北に縦走する比較的起伏が少ない自然歩道もありました。眼下には、大阪平野や淡路島、六甲の山並みまで見渡すことができました。(走行時間:約7時間30分)

ゴール後は私市のタイガース風呂で汗を流し、近くの居酒屋で盛大な打ち上げパーティを行いました。今回のパノラマトレイルランは、大変厳しいコースにも拘わらず長瀬さん、曾我さんが見事完走され、素晴らしい記録が樹立されました。これも、関根さん、阪本さん達の熱心、周到な下見や、コースや宿の手配等のサポート、ご本人達の体力、走力、努力の賜物だと感じました。阪本さんは、来年は、さらにゴール地点まで延長し、5日間コースにしたらどうかとの夢を語っておられ、ウルトラランナーにとってまたまた素晴らしい、より過酷な大会に発展する希望があり、楽しみが増えそうです。



みさき公園をスタート



和泉葛城山



星田の吊り橋



ゴール私市にて